

選挙人名簿登録者数
(令和3年12月1日定時登録
現在)

男 306,253名
女 312,770名
619,023名

ELECTION

～せんきよ
《明選だより》～

ELECTION (エレクトション) とは、英語で「選挙」の意味です。

第73回 明るい選挙ポスターコンクール

東京都優秀賞



18歳になったら選挙に行こう

東京都立六郷工科高等学校 2年
笠原 湊音 さん



東京都立つばさ総合高等学校 2年
阿部 くるみ さん

毎年、総務省・都道府県・区市町村が将来の有権者である児童・生徒の選挙への関心を高め、政治意識の向上を図るために「明るい選挙」をテーマとしてポスター作品の募集をしています。

令和3年度は、区内に在住・在学している小学生・中学生・高校生から271作品の応募をいただきました。学校関係者の皆様方の多大なるご理解ご協力に心より感謝申し上げます。

たくさんのご応募ありがとうございました。

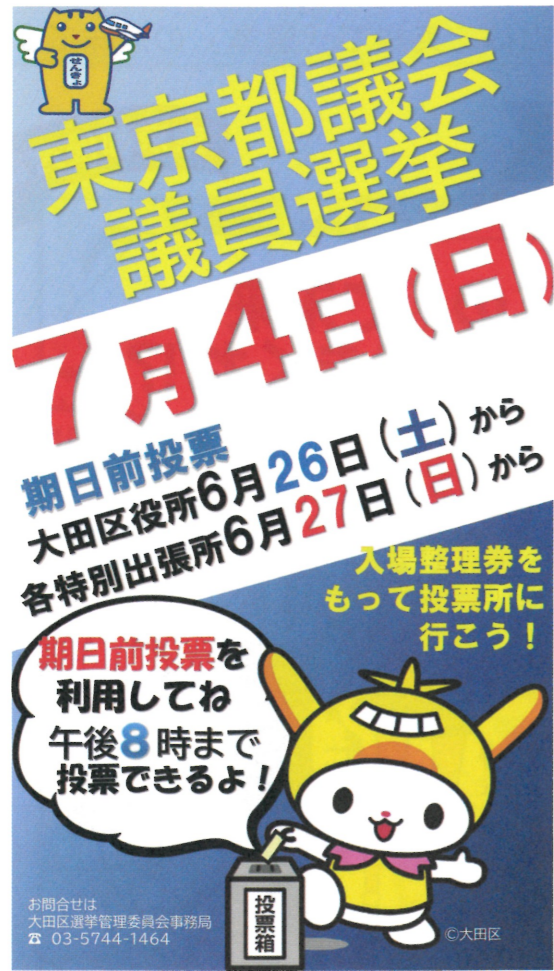


大田区立安方中学校 3年
米村 はるな さん

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、東京都議会議員選挙と衆議院議員選挙が執行されました。

各選挙において、投票管理者・立会人を務められた方たちに、選挙に対して感じたこと等についてご意見・ご感想をいただきましたので紹介します。

7月4日執行 東京都議会議員選挙



○期日前投票を通して感じたこと

荒井 裕理（若年層立会人・18歳）

今回の東京都議会議員選挙で初めて期日前投票立会人を務めさせていただきました。選挙権を持つようになった最初の年に期日前投票立会人として選挙に携わったことは非常に貴重な体験であると感じています。

期日前投票立会人として多くの方が投票の様子を見届けている中で、投票に訪れる若い世代の少なさに身をもって実感しました。自分が今送っている生活は当たり前前に存在していて、誰に投票してもあまり変わらないという考えが若い世代の投票率を低くしているのではないかと思います。自分が投じた一票は今後自分が生きていく社会のあり方に大きな影響を与えるということを一人一人が忘れずにいることが必要であると思います。

今回の選挙では、投票する立場に加えて投票を見守る立場からも選挙の仕組みを学ぶことができました。この経験を生かして有権者の一人として責任を持って投票に臨みたいと考えています。

○期日前投票に思う

大森東地区世話人 曾根 幸

私は、本庁舎と出張所の期日前投票の当番にあたり、従事者の対応に格差を感じています。ある時出張所に障がいのある方

が母親とこられて代理投票の依頼を受けました。本人はなかなか椅子に座らず、母親に叱られながら係員に候補者の名前を告げ、投票用紙に係員が書きました。本人に投函してもらおうと用紙を持たせるとあちらこちらに投げ大騒ぎ、それでも大事な一票です。側で見ているのはじめに親子を外にだし、話し合った上で再入場してもらえば良いのと思いました。

投票所を厳密で公平な場所にするには、従事者と管理者が協力しあう事が重要だと感じました。

これからは、マイナンバーカードの普及に伴い、インターネット投票を視野に、世の流れに耳を傾け、色々な事を学んでより良い投票所にしていきたいと思います。

○東京都議会議員選挙を振り返って感じたこと

大森西地区世話人 福井 省三

まだコロナ禍の収まらない中、明選啓発活動出来ずに立会人を務めて投票率を心配した。会場で投票者が鉛筆の扱いに戸惑うこととマイ・エンピツが少ない様に感じる。

今回の大田区での東京都議会議員選挙の投票率 43.60% をよしとするか悪いとするか迷ってしまう。候補者の得票数を見ると前回の東京都議会議員補欠選挙の影響と一議席減が関係していることと思われる。東京都議会議員選挙はかなり身近な選挙でマスコミの影響が少なかった様に感じた。あくまで私見であるが、今回無党派層の投票減と投票候補者を決めて来ないのではと感じる有権者が期日前 20%選挙当日で 15%ぐらい居た様に感じている。今年の参議院議員選挙、ぜひ投票して頂き国の未来に進んで行くメリットを候補者・マスコミ共々有権者にアピールして行く啓発活動が何か出来ないかと夢見してしまう、最後に投票業務に携わる皆様に心より感謝申し上げます。

○投票所運営仕組み・お願い

入新井地区世話人 河西 昭夫

入新井地区は 11 地区ブロックからなり、各区より一名の明るい選挙推進委員が任命され、合計 11 名で運営されています。期日前投票は入新井特別出張所 4 階の集会室で、投票管理者 1 名・投票立会人 2 名・合計 3 名の編成で行います。

選挙当日は小学校 3 校・中学校 1 校・合計 4 ヶ所の投票所で、投票管理者 1 名・投票職務代理 1 名・投票立会人 2 名合計 4 名と事務長等で行われます。

次に投票に来られる方にお願いがございます。皆様ご存知と思いますが、投票用紙は、折って投票箱に入れても開いてしまいます。又、折って入れても入口に詰まって中に入らない場合がありますのでご注意ください。

投票所内は会話禁止ですので、どなたに投票するかあらかじめご準備の上、来所して下さい。

令和 4 年 7 月頃参議院議員選挙が予定されております。皆様の未来が明るく、希望が持てる社会になるよう一票が大変大事ですので、知人をお誘いの上是非投票の程、宜しくお願い申し上げます。

○立会人・投票管理者を経験して

嶺町地区世話人 片桐 義大

明るい選挙推進委員に任命され、各選挙の管理者・立会人として 13 年が経過しました。

選挙の立会人として心掛けている事は、選挙の投票に来た人に気持ちよく投票して帰宅してもらおう事です。年配者で困っている人が居れば早い対応をする。コロナ感染拡大に備え立会人

同士の雑談をしない。マスクの着用等配慮しております。現在若者が選挙に行かない、興味が無い、誰に投票しても同じと言われていて。選挙に魅力が無いのではなく立候補者に魅力が無いと考えるようになって来ました。お金にまつわる悪質な議員の名がテレビ、新聞等で賑わしているのが現状です。魅力ある立候補者が出てきてもらいたい。高校時代に選挙に対する教育をしているのか疑問です。投票の意義を教える必要があると思う。選挙で世の中が変わる事も頭に入れ、一人一人が選挙に行く事をこれからも進めていきたい。一票の積み重ねで世の中が変わる事を言いつづけたい。

○投票所の管理者として感じたこと

久が原地区世話人 松田 光生

特別出張所での期日前投票所での管理者は、何回か経験しましたが、先の東京都議会議員選挙で初めて投票所での管理者を経験しました。

その日は、7月なのに雨降りで少し寒さを感じる程でした。6時半過ぎ、全員でのミーティングで注意事項等が周知されました。投票が進むにつれて何点か疑問点が・・・。

以前は確か認められていなかったと思いますが、スマートフォンの閲覧・選挙公報の持込みが、他人に迷惑がかからなければ良いと、それなのに幼児が投票用紙を投票箱に入れるのはダメだと・・・。前者が良いのであれば、後者もOKで良いのではと思います。

いずれにしても無事トラブルもなく終了して、関係者の皆様方に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

○明るい選挙推進協議会について

矢口地区世話人 齋藤 民雄

矢口地区代表の世話人になって数年が経ちました。その間の主だった選挙啓発活動は武蔵新田駅前、及び下丸子駅前で選挙前にハンテン、タスキを着て、ウェットティッシュ配りをしたり、地区の色々なイベントにブースを設けて、選挙啓発活動を行ってきました。本当にこの様なことが、少しでも投票率UPに貢献しているのでしょうか、甚だ疑問です。

今日まで選挙管理委員会でも、あの手この手と投票所の時間を長くしたり、期日前を設けたり、投票者の年齢を 18 歳まで引き下げたりと努力していますが、投票率は常に 50%前後で推移しています。現在の日本の選挙制度では、これが限界かもしれせん。今更ですが、特に若い世代の投票率が低いとのことです。何とかして若者達を選挙啓発活動の場に引っ張り出し、少しでも関心をもってもらい近い将来に繋げたいと思います。駅前でのティッシュ配り。じいじ・ばあばが配ってもだれも関心を持ちません。若者、大学生、専門学校生、高校生、中学生

等に参加を促し、若い世代を取り込めたらとの願望です。

又投票所で選挙立会人を若者にしたことがありましたが、事務方も若い学生を数人起用し若返りを図るのはどうでしょうか？選挙啓発活動、とにかく若者集まれです。

投票率UPの特効薬はありません。これからも地道な明選活動に邁進します。

○立会人として思うこと

蒲田西地区世話人 横山 智恵子

7月4日（日）東京都議会議員選挙・10月31日（日）衆議院議員選挙が行われ立会人として従事しました。

いつもの選挙と手順は変わりありませんが、選挙の立会を重ねる毎に立会人として規則の中での役割は何処までなのか？考えることが多くなりました。投票者との信頼関係が一番大事な中で、毎回記載台での隣同士の会話・候補者の指差し・スマートフォンでの会話・子どもたちに投票させる親等。見て見ないふりはできませんし注意することも難しいと感じることが多くなりました。折角投票に来て下さっている方と立会人が互いに嫌な思いをせずに「ありがとうございました。」の一言で終了出来るように心がける事。それが立会人としての心構えなのかと思う今日この頃です。

○投票管理者・立会人として感じたこと

六郷地区世話人 安田 政一

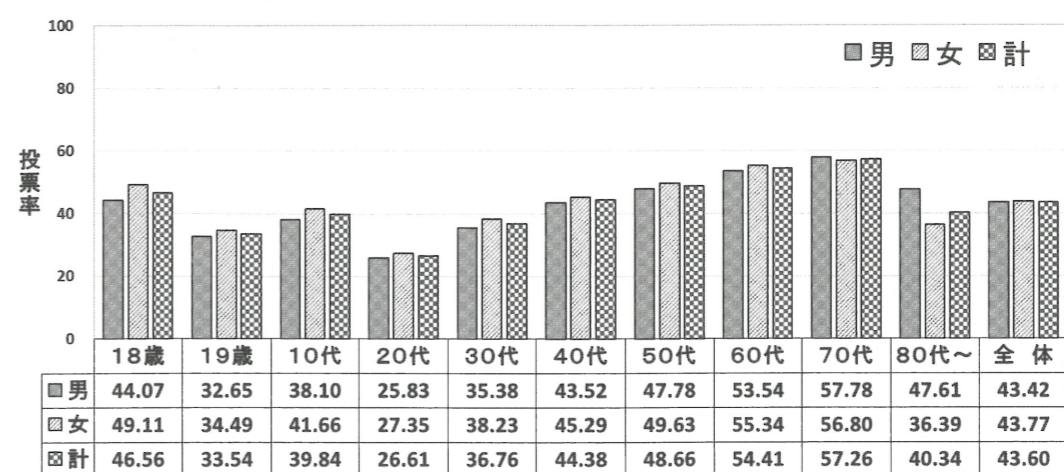
令和3年度に行われた東京都議会議員選挙と衆議院議員選挙において、投票管理者・立会人として従事しました。投票所を見ていると、以前は小さな子どもも一緒になって来てくれていましたが、最近ではあまり家族連れで来てくれる人が少なくなってしまったように見受けられました。これは、投票所の厳格な雰囲気、子どもと一緒に連れて行きづらくしてしまっているのかなと感じています。

投票管理者・立会人として従事する際、何気なく腕を組んだりしてしまおうと、投票に来てくれる人たちに威圧感を与えてしまいません。そのようなことがないよう今後はより一層振る舞いに気を付けて従事していきたいです。そして、ぜひ子どもと一緒に投票所に来て「選挙は楽しいもの」と感じてもらえるように、親しみやすい投票所の雰囲気をつくっていききたいと思います。



© 大田区

令和3年東京都議会議員選挙年代別投票率



皆さんから「若い世代の投票者が少ない」との意見があるように、若年層の投票率は低い傾向にあります。

左のグラフは、令和3年7月4日に執行された東京都議会議員選挙の年代別投票率を表したものです。大田区全体の投票率は43.60%で、10～30代の投票率はいずれもこれを下回っています。特に20代の投票率は最も低く、10代と比較しても10ポイント以上下回っているのがわかります。

10月31日執行 衆議院議員選挙



日本工学院クリエイターズカレッジ制作によるデジタルサイネージ

○投票所の立会人をやってみて感じたこと

津久井山 舞 (若年層立会人・20歳)

私は、令和3年10月の衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査で立会人になりました。

期日前投票所の立会人は、投票箱の後ろに座り、不正が行われていないか見守ること等が役割です。また、若年層の方が投票会場に足を運びやすいよう、私が若年層の立会人として参加させていただき役割もありました。その中で感じたことは、若年層の方が少ないということです。有権者であることを自覚し、投票所に来てほしいと感じました。私自身も含め、選挙により関心を持つ必要があると思いました。

○投票立会人を経験して

大田 綾 (若年層立会人・29歳)

「選挙」と聞くとみなさんは何をイメージするでしょうか。堅苦しいもの？若者にはあまり関係ないもの？これまで私は「選挙は大切なものだから必ず行かなくては」と思う一方で、心のどこかで「投票に行くのは少し面倒だな。自分の一票で変わる事なんてあるのだろうか。」と思う自分もいました。しかし、投票立会人として投票を見届けていると、少しずつ選挙の見え方が変わっていききました。選挙に来る方々は、年配の方や仕事・学校帰りの社会人や学生など世代はさまざまですが、一人一人が思いをもって投票所に来ており、その一票一票に重みを感じました。そして、一人一人の思いがこもったこの「一票」が未来を変えていくのだと思うと、「自分の一票も大きな意味をもっている」と思えるようになりました。

選挙は明るい社会を実現するための大きな一歩になります。しかし、いまだ若年層の投票率は低いのが現実です。若い世代のみなさんには、自分達はもちろん次世代のためにも、未来を変えるチャンス逃さないように投票に行っていきたいなと思います。

○衆議院議員選挙を振り返って

馬込地区明るい選挙推進委員 小野 幸司

今回の衆議院議員選挙はコロナの影響が続く中で投票が行われました。政府のコロナ対策が後手に回っていること批判され、総理大臣が交代して任期切れでの解散となりました。マスコミでは自民党の苦戦が予想され大幅に議席を減らし、野党共闘による競合区での選挙協力が行われ、政権交代もあり得るとの見方がされていました。選挙の結果自民党は数を減らしたものの、単独で過半数を維持、野党共闘は伸びず、与党が国会運営を主導できる議席を獲得する結果となりました。これらのマスコミの事前予想を信じた私のような者は振り回されてしまいまし

た。世の中はあまり大きな変化を求めていないのではないかと感じました。

○衆議院議員選挙を振り返って

池上地区世話人 岡本 勝子

例年ですと駅前、その他色々な所で啓発運動を通して、皆さんの選挙に対する気持ちや少しでも関心を持って頂く事が出来ましたのに、コロナ禍により全ての行事は中止。私たちは何も活動する事が出来ない日々でした。そんな中突然ふっつわいたような、今回の衆議院議員選挙それも一週間も前倒しとなり、本当にあわただしい選挙となり、選管の皆様の気苦労はいかばかりだったと推察いたします。私の立会当日は、今まで自分が経験したことがない程の大勢の人が投票に見えました。しかし以前のように、ありがとうございますと立会人の立場で声かけが出来なかったのをさびしく思いました。皆様の所ではいかがされたのでしょうか。今回は思ったより若い人も多かったのでは？と感じたけど投票集計を見ればその割でもなく、それ以上に投票率も今までより特別に高くないとのこと。期日前投票を数年立ち会って見る限り、前回より今回と皆さんの意識も高まってきているように感じられます。

○選挙管理者として&衆議院議員選挙を振り返って

新井宿地区世話人 西條 誠一

私が明るい選挙推進委員として、活動を始めたのは4・5年前、それから何度もなく投票管理者を経験してきました。

ここ数年、「本庁」、「特別出張所」での期日前、「学校」での当日と3ヶ所を行ってきました。

そこで感じたことは、投票する人のことを一番に考えての仕組みになっているということである。当たり前のことだが、投票率を上げるために、色々工夫していることがわかる。最近、投票人に指摘すると、嫌な顔をされたり、睨みつけられたり有る程度我慢しなければいけないことも増えてきた。特に若いお母さん、お父さんの子供連れで来て、投票箱に子供が入れる場合が多く目につく。

「駄目ですよ、お母さんが自分で入れてください」

「え？何で前は、良かったのに？」こんなこともあった。

しかし今は、「子供さんに手をそえて一緒に入れてください」と呼び掛けています。最後に、今後ぜひお願いしたいのは、投票用紙の問題です、今回薄緑と薄紅色の投票用紙でしたが、蛍光灯の反射で、色が変わって、わかりづらいので、間違っ逆投函してしまう場面が多かった、もう少し色の濃い投票用紙が良いと思います。

長々と書きましたが、まだまだ書ききれないこともあります。新井宿地区の明選活動も殆ど出来ない状況ですが、今後は、皆さんと意見交換しながら、進めていこうと思います。

○投票に行こう

田園調布地区世話人 世良田 光代

また騙された？選挙の立会人をやっていると、どうしても投票率が気になってしまう。

いつもの事ながら期日前の投票率と実際の投票率が連動しないことは多い。しかし今回の衆議院議員選挙は自由民主党総裁の交替、野党共闘などと話題性もあり、期日前投票も好天に恵まれ出足も好調だった。今度こそはと投票率のアップを期待したのに、いざ蓋を開けてみると55.93%と戦後3番目の低さだったという。何故投票に行かないの？「誰に投票したら良いかわからないから」という声を聞きます。でもちょっと目を見開いてみてください。耳を傾けてみて下さい。何かが見えます。何か聞こえます。

「自分が投票した人はいつも落選するから」

いえ、その一票が貴重なのです。当落が決まるのも一票の積み重ねなのですから。さあ、明日への一票、投票に行こう。

○コロナ禍での選挙

鵜の木地区世話人 吉崎 迪三

今年も昨年と同様にコロナ禍での選挙となりましたが、マスク、手袋姿のスタッフの皆さんは一般業務の他にエンピツ、会場の消毒と大忙し。投票に来た人は、いつもと違って自分で機

械から投票券を取ったり、裁判官の審査や鉛筆の取り忘れ、返却などで戸惑う人も大勢いましたがスタッフの皆さんの助言で大した混乱も無く終了する事が出来ました。又体育館にはエアコンも入って、暑さ寒さの対策も改善されました。今年も投票率が低いとの事ですが国や都や区、そして皆のことを真剣に考えてくれて真面目で魅力的な候補者がたくさん立候補してくれば自然と投票率が上がると思います。

○衆議院議員選挙を振り返って感じたこと

雪谷地区世話人 藤沢 マチ子

期日前投票所の管理者を若い方と一緒にさせていただきました。投票所での様子、人の働きや同世代の人達のまだまだ関心が低い事等、肌で感じてもらえたと思います。この貴重な経験を知人や友達に伝えてほしいです。ある中学生が「数年後に選挙権を得る投票に備えて出来るだけ新聞を読んだり、ニュースを見たりしておこうと思う」と書いてあり、若年層の人でもこの様に考えてくれる人が一人でも増えて、投票所に来てくれる事を期待したい。今回の選挙は、新型コロナの影響で今迄の様に研修会や街頭啓発活動も中止になり、日程も早まり選挙管理委員会の方々の準備は大変だったのではないのでしょうか。

○投票立会人に従事して

羽田地区世話人 勝呂 進

令和3年は東京都議会議員選挙および衆議院議員選挙で、特別出張所と本庁での期日前投票、大田生活実習所での投票日当日の投票立会人に従事する機会を得た。

羽田特別出張所では平成30年11月の庁舎建替え以前は出張所の通常業務の受付の脇に投票スペースをつくり、狭く窮屈な思いをした。今は人の順路がスムーズになり安心だ。本庁では昼前、夕方など多くの方が来られ、お待ちいただく場合がある。これならば投票率も少し上がっていると期待した。当日投票では地元の顔なじみの方も多く来られる。「お疲れ様です」と声をかけられ恐縮する。中には緊張されているのか顔を下に向けたままで目を合わすことがない方もある。私も投票を始めた若いころは会場に入るとなんとなく緊張していたことを思い出す。皆さんが気持ち穏やかに投票できるよう配慮したい。

○衆議院議員選挙を振り返って感じたこと

蒲田東地区明るい選挙推進委員 小野 佳子

コロナ禍になった1年半を過ぎて今回の選挙も街頭等の啓発活動はなくなり、テレビやポスター等メディアから訴える手段で多数の芸能人の力を借り、選挙が大切である理由、政治に関心を持って生活することの重要性を今まで興味がなかった人や若い人たちにも伝わったように思いました。

コロナワクチン接種が進んできた中で会場に臨む私達立会人は前回よりもリラックスできていました。午後から雨という予報を受けてか、出だしは好調に始まりました。小さな子どもと一緒にご家族も多かったですし、十代の若者たちも目立ちまし

た。真摯に投票用紙を受け取り、投票箱に入れて私達に会釈して去っていく姿は清々しさを感じます。この若者たちがきつと選挙の大切なこと次の世代に繋いでくれるでしょう。

○衆議院議員選挙を振り返って感じたこと

千束地区世話人 鈴木 俊輔

令和3年10月実施の衆議院議員選挙では、本庁舎での期日前投票と当日投票立会人を務めました。近年の若者の投票率は低迷したままです。今回も各投票所での若者の姿が少なく感じました。しかし、今回の衆議院議員選挙の東京都全体の投票率は57%と前回は3ポイント以上上回り、新型コロナのリスクが有る中、感染の最前線に居る東京都民が、いかに政治に対してコロナ対策や落ち込んだ経済に対する施策を期待しているかを肌で感じました。投票への啓発、特に若者への選挙参加に関して、来年度から高校で公民科における必履修科目として「公共」の履修が開始されます。「公共」による主権者教育で民主主義への理解を深め、投票する事の大切さを学んで投票所に足を運んでもらえる事を期待します。

また、これらの主権者教育を後押しする為に選管の方が中心となり、各高校に対して選挙体験教室開設や啓発動画の上映等を行い、高校生の主権者意識向上を図る事が必要だと思います。

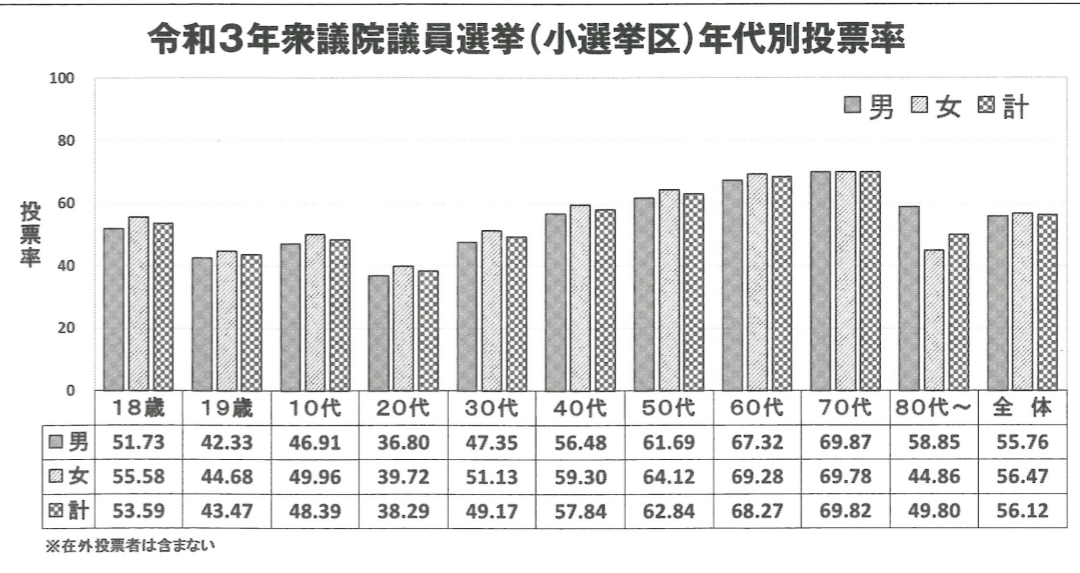
その際、我々「明るい選挙推進委員」も模擬選挙の投票管理者、立会人として参加したり、啓発動画の作成に積極的に協力したいと考えます。その啓発活動の報告を「エレクション」に寄稿する事で、皆様と情報の共有化が出来ると思います。

○衆議院議員選挙を振り返って感じたこと

糀谷地区明るい選挙推進委員 山崎 均

選挙に立ち会ってみると、時間経過ごとの投票率が報告されます。投票者数の波は午前中に1回、午後に1回あります。特に午後の投票率の波はこのまま右肩上がり終盤まで伸びるのか期待を持ちました。が、この波は経過時間とともに低下に向かいました。これは投票者皆さんの生活パターンに関わってきませんが、結果的に投票率は30%前後というのが本投票所でした。もしも自分が投票に参加しないかを考えたとき、天候が今回みたいに雨である、選挙に関心がない、投票しても何も変わらない、一票の重さを感じられない等があげられます。

地域のイベント等での啓発活動が行われていますが、有権者の選挙への関心度を上げるのは、並大抵ではないことを再認識した次第です。



このグラフは、令和3年10月執行衆議院議員選挙の年代別投票率を表したものです。前回平成29年10月執行の衆議院議員選挙と比べて、全体として10代・20代・30代の投票率が約7%増加しました。東京都平均よりは若干低いものの大きな関心が寄せられていた選挙だということがわかりました。

模擬投票を行いました

大田区選挙管理委員会事務局では、選挙に親しみを持つことで政治や投票の大切さを知ってもらうために区内の小学校・中学校・高等学校で模擬投票や生徒会選挙支援を行っています。令和3年度は、小学校4校・中学校8校・高等学校4校で行いました。

模擬投票では空虚確認をはじめ、名簿対照や用紙交付、投票管理者等の役割も生徒さんに担ってもらいました。本物と同じ素材でできた投票用紙や実際の選挙で使用している投票記載台、投票箱、用紙交付機等を使用して、限りなく本番に近い環境での投票を体験してもらいました。

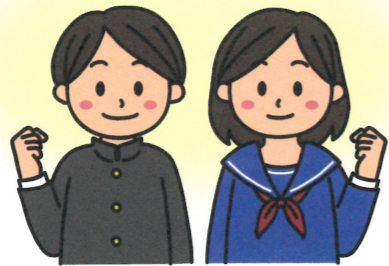


【生徒さんの感想】

①選挙に行ったほうがいいと思いました。世論がより反映されやすくなるからです。その日に行けないからと言って行かないという選択をせず、期日前投票などをするのが大事だと思いました。18歳になったら選挙に行くことが大事だと思いました。

②この人は何をしてくれるのかなと意識して見た時に、具体的に書かれていないと不安になるなと思いました。投票用紙の質感がめっちゃ面白かったです。折れても直る！選挙は意外と堅苦しいことじゃないんだなと思いました。

③選挙公報を実際に読んで投票するという流れがよく分かったので、よい体験が出来たと思います。また、選挙公報をじっくり読んだことがなかったので、どの人に投票するか考えるのも勉強できたので良かったです。



④今では若い人の投票率が低いので、自分たち若い人が選挙に行かないと、不利益な政策をする人が当選してしまうかもしれないので、積極的に選挙に行った方がいいなと思いました。

⑤有権者が気を付ける選挙のルールで、OKなことと、NGなことで区別しにくいものもあったので、自分が選挙活動ができるようになったら、気を付けたいなと思いました。また、普段選挙のポスターを貼ってあるのを見たことがあるけど、きちんと見ていなかったの、次はしっかり見てみようと思いました。

⑥投票するのは思いのほか楽しかったです。プラスチック製の投票用紙がすごいと思いました。

⑦模擬選挙の活動を通して、選挙に行くことは、とても大切なことだなと思いました。僕は有権者の細かいルールなどについて全然知らなかったので、この活動をきっかけに、もう少し選挙関係のルールについて知らなければならないなと思いました。実際に模擬選挙を行ってみて、このような感じで選挙は行われているのだなと思いました。

⑧私たちは一人で街を変えることはできないけれど、立候補している人はこの街を変えよう！と立ち上がってくれた人なので、その人たちの意見を聞いて票を入れることが大事なんだなと思いました。

令和3年度明るい選挙ポスター展を開催しました

令和3年12月20日(月)～12月24日(金)の日程で「令和3年度明るい選挙ポスター展」を開催しました。このポスター展では、区内小中高の学校から「明るい選挙ポスターコンクール」にご応募いただいた作品を大田区役所3階中央展示コーナーにて展示しました。どの作品も色彩豊かで、生徒のそれぞれの選挙に対する思いが伝わってくる力作ばかりでした。



令和3年度明るい選挙ポスターコンクール作品 提出実績

	小学校(低学年)	小学校(高学年)	中学校	高等学校
応募者数	5人	146人	85人	35人
応募学校数	17校		10校	5校
協力校	山王小学校、馬込小学校、馬込第三小学校、池上小学校、徳持小学校、調布大塚小学校、久原小学校、池雪小学校、東糀谷小学校、都南小学校、萩中小学校、出雲小学校、六郷小学校、高畑小学校、東六郷小学校、おなづか小学校、新宿小学校		大森東中学校 貝塚中学校 東調布中学校 雪谷中学校 羽田中学校 六郷中学校 志茂田中学校 蓮沼中学校 安方中学校 蒲田中学校	大森学園高等学校 東京都立六郷工科高等学校 東京都立つばさ総合高等学校 東京都立蒲田高等学校 日本体育大学荏原高等学校

明るい選挙推進協議会とは

大田区における明るい選挙推進運動に取り組む組織です。「明るい選挙」とは、有権者が主権者としての自覚をもって進んで投票に参加し、選挙が公正に行われ、私たちの意思が正しく政治に反映される選挙のことです。そして、これを進めるための運動を「明るい選挙推進運動」と言います。

この運動の目的は、

- ①選挙違反のない選挙を行うこと
- ②有権者が投票に参加すること
- ③有権者が常日頃から政治と選挙に関心を持ち、候補者の人物や政見、政党の政策などを見る眼を養うこととされています。

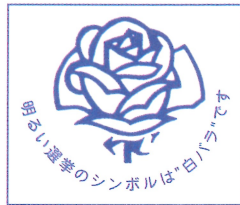
明るい選挙運動のあゆみは、昭和 26 年に行われた第 2 回統一地方選挙で選挙違反が横行し、翌年に予想されていた衆議院議員選挙に向けて激しい事前運動が行われたことから始まりました。しかし、その後も政治不信をもたらすような選挙違反はなくなったわけではありません。

また、近年実施されたいずれの選挙においても、投票率の低迷が続いており、とりわけ若年層の投票率は低く憂慮すべき問題となっています。

明るい選挙推進運動は、有権者が常日頃から政治と選挙に深い関心と高い意識を持ち、投票参加と選挙違反のないきれいな選挙の実現を目標としています。

明るい選挙推進委員は、都と区市町村の明るい選挙推進協議会から委嘱された方々です。選挙管理委員会の事業をボランティアでサポートしており、現在都内では約 4,300 人の推進委員が活動しています。

白ばらは、現在「明るい選挙」のシンボルとして広く使われています。白ばらがいつごろから使用されたか明らかではありませんが、記録によると明治時代に原敬や犬養毅などの国会議員が胸に白ばらをつけて登院したといわれています。



また、普通選挙運動者が胸に白ばらをつけて民主主義確立のため奮闘したそうです。その後の選挙粛清運動においては使用された記録はありませんが、戦後に至り、昭和 30 年 11 月 15 日の普選 30 周年、婦人参政 10 周年記念祝典のシンボルに使用されました。



総務省「明るい選挙の推進」のページ
https://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/naruhodo/naruhodo09.html

公益財団法人
明るい選挙推進協会のページ
<http://www.akaruisenkyo.or.jp/>



令和4年7月は 参議院議員選挙の予定です

令和4年7月25日は参議院議員の任期満了日です。6月になりましたら、区報特集号やホームページなどで選挙日をお知らせいたしますので、チェックしていただき、入場整理券を受け取ったら、ぜひ投票所にお越しください。

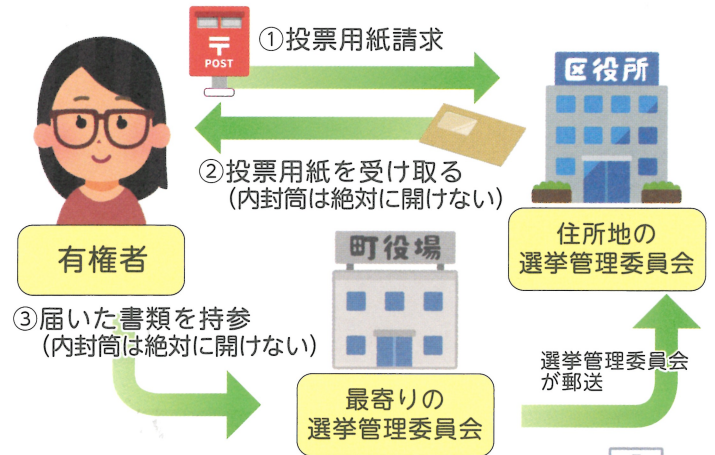
当日投票所に行けない方へ

期日前投票

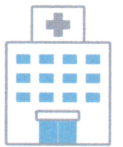
大田区役所本庁舎、区内 18 特別出張所において、投票できます。投票場所は、衆議院議員選挙においては、投票可能な会場が、選挙区である第 3 区、第 4 区内にある特別出張所に分かれています。その他の選挙では、本庁舎のほか、この特別出張所でも期日前投票を行うことができます。

不在者投票（滞在地投票）

出張や旅行などで、期日前投票期間および投票日当日に投票所に行けない方のための制度です。



病院に入院中の方、施設に入所中の方も、施設によっては投票することができます。詳しくは選挙管理委員会にお問い合わせください。



介護度が要介護5のかたや、特定の身体障がいがあるかたは、申請すると「郵便投票制度」が認められることがあります。詳しくは選挙管理委員会にお問い合わせください。

ご存じですか？ 代理投票制度

投票所において、事情によりご自身で投票用紙に記載できない場合には、投票所の係員 2 名がお手伝いをいたします。お気軽にお声をお掛けください。

係員に書いてほしい候補者や政党名が分かるもの（選挙公報の切り抜きやスマホの画面）をお持ちいただければ、スムーズに投票ができます。



© 大田区

編集委員

協議会副会長	福井 省三	(大森西地区)
//	世良田 光代	(田園調布地区)
//	横山 千恵子	(蒲田西地区)
協議会委員	臼田 毅弘	(馬込地区)
//	松田 光生	(久が原地区)
//	藤沢 マチ子	(雪谷地区)
//	安田 政一	(六郷地区)
//	畑山 康子	(蒲田東地区)

発行 大田区明るい選挙推進協議会
大田区蒲田五丁目 13 番 14 号
電話 03-5744-1464